

2025大阪万博!

大阪を世界に発信する 絶好のチャンス!



みつぎ浩明
(府議団政務調査会長)

基本構想案	
テーマ	人類の健康・長寿への挑戦
開催期間	2025年5月～10月(想定)
開催経費	●会場建設費 約1,300億円
	●運営費 約740億円
関連事業費	●地下鉄中央線の延伸 約640億円
	●連絡橋の拡幅 約40億円
	●夢洲の追加埋立て 約50億円
入場者目標	3,000万人
経済波及効果	6.4兆円 ※開催後10年間の全国への間接的な誘発効果を含む

非常に厳しい 大阪府の財政状況!

今後3年間、毎年、約500億円の収支不足

Q. みつぎ議員 万博にかかる費用については、まったくと言っていいほど、具体的な検討が、行われていない。いま、大阪府の財政は、財政調整基金の取り崩しに、頼らざるを得ない状況。どうやって、数千億円の費用を捻出するのか。知事自らが、府民に説明するべき。

A. 知事 今の時点で、まだ、全て、細かいところまで事業を精査した訳ではないが、まずはチャレンジしていくと、ここが一番大切だと思ってます。

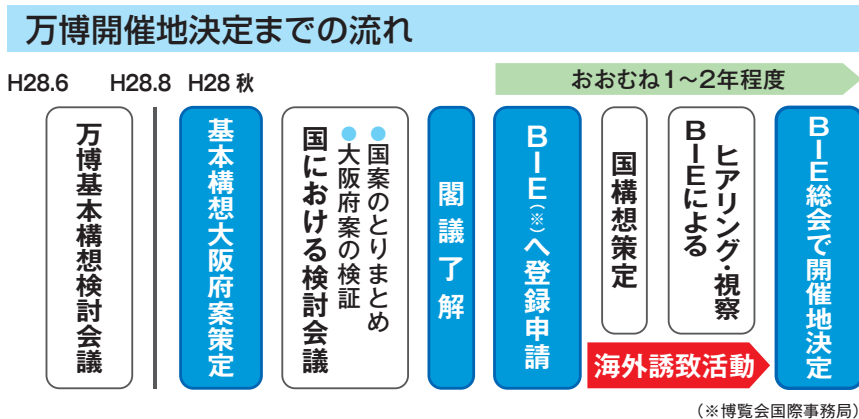
あまりにも軽すぎる! 知事の答弁

Q. みつぎ議員 きちんと判断するために、財源はどうなっていますかと、質問している。知事は説明する責任がある。

A. 知事 万博の会場設営経費は、国、地方自治体、経済界で3分の1ずつが基本的な考え方。そうすれば、大阪府の負担は、ざっくり考えれば200億。その位の財源を捻出する体力は僕は今あると、思ってます。



まとめ 今年、来年、再来年、どうやって今の大阪府の財政危機を乗り越えるのか、大阪府の財務担当は、必至で取り組んでいます。それなのに「ざっくり9年間で200億円いけます!」と答える知事。あまりにも軽すぎます!



最終的に万博の費用を 支払うのは府民です!

指摘されたくないことを指摘されると、すぐに「反対ですか!」と発言する知事ですが、東京五輪のように、知らぬ間に経費が増えていくようなことのないよう、やりたい、やりたいだけでなく、府民の皆様理解される夢のある「大阪万博」の実現に向け、財源問題など、あたり前の議論をしっかりと行ってまいります。

夢のある万博となるよう自民府議団は一丸となって取り組みます!

大学 統合

法人は統合し、大学は残す、 1法人2大学の体制で スタートすべき!

Q. みつぎ議員 阪急百貨店と阪神百貨店は、経営統合後も2百貨店体制を維持されている。それは、企業側の理屈ではなく、顧客目線でどうあるべきかという視点で協議を重ねた結果であると伺った。統合後も「地域社会になくはならない存在であり続けること」を目指しているという。今般の府大と市大の統合についても、まずは、府民目線、市民目線、学生目線に立ち、阪急・阪神百貨店のよう
に1法人2大学の体制で、歴史と伝統ある両大学を保持・活用しながら、引き続き、「大阪になくはならない大学であり続けること」を目指していくべきと考える。これまで、1法人1大学の答えありきで進んできた。1法人2大学の案についても検討し、府民・市民に広く情報を提供し、比較検討すべきと考えるが。

A. 知事 府民・市民のご意見も大切だと思うが、まずは大学同士の意見が一番大切。平成27年2月に両大学がとりまとめた「新・公立大学」(基本構想)には、両大学の統合によって有するリソースを最大限活用することにより、新たな大学が出来上がるということで、1法人1大学を目指していく必要があると考える。

